ボーリング柱状図

調 名 平成24年度 地すべり対策事業 高野3期地区 委託業務第2号 査 ボーリングNo. 5 3 3 5 1 3 9 8 0 0 事 業 ・ エ 事 名 シートNo. ボーリング名 H24BV-5 大飯郡 高浜町 今寺地係 調査位置 北 35° 29′ 43. 4196″ 発注機 関 福井県嶺南振興局農村整備部 調査期間 平成25年 2月 6日~平成25年 2月12日 東 135° 28' 49.8363" 経 ボーリ 株式会社キミコン 調査業者名 閲夫 梅田 祐一 主任技師 鰐渕 祐樹 西村 英夫 代 理 定 グ 責 任 者 者 話 0778-62-7700 ΤР 角 180 地 方 北 ハンマー 孔 標 機 半自動型 高 試 錐 東邦D0-D1 水平 0° 用 落下用具 204.21m盤 上 270° 90 鉛 勽 下 機 直 掘 進 長 17.00m エンジン ヤンマーNFAD-8K ポ ン プ NS-3C 度 向 配 180° 90° 種 南 進 掘 状 況 標 硬コ割風変 準 貫 入 試 験 標 深 柱 岩 色 記 岩 孔 原 コア採取率 内 (%) 給回送送排 掘 コ 水 位 深 種 級 打擊 径 進 最大コア長 内 位 目 転|水|水|水 進 回数 速 尺 高 度 状 置 値 0 Ν 測 孔 度 形 区 |圧|数|圧|量|量 区 RQD貫入量 定 壁 度 試 状 - [%] 月 cm 保 軟狀態化質 义 分 調 事 分 日 回/cm m m m m 時 護 験 日 1 分 験 MPa rpm MPa 分 30 40 50 60 20 40 60 80 0 40 0 0 : 表土 茶褐 VII 203. 91 0.30 草根混入。粘土からなる。 1.00 60 80 0 清水 14= D 14 1 1 1 1 1 1 1 1 簡易揚水 清水 9[9] (100) ; 80 120 100 120 0 0[0](100) 50 80 0 0[0] (95) 80 120 清 水 18 簡易揚水 る。 角礫~亜角礫。 崖錐性の堆積物である。 マトリックスは砂礫主体で、所々 粘土分が卓越している。 深度3.5m付近、8.6m付近の粘土分 卓越部は灰~暗灰色を呈する。 深度2.6~3.3m間、木片を混入。 金水景全体に多い 16 0[0] (95) Ш 50 120 0[0](100) 86 含水量全体に多い。 深度3~9m付近、被圧水を有する 0[0] (100) 80 120 簡易揚水 9m以深は褐色を帯びる。 0[0] (80) 60 80 8 グ D 16 0[0](100) 30 120 40 簡易揚水 50 80 11. 20 🕉 193. 01 岩片状コア。 岩芯まで酸化し、褐色汚染。 岩片は軟質。指圧で割れる。 割れ目が卓越し、割れ目沿いは土砂状化。 割れ目のかみ合わせは概ね良好で 当知目のかみ合わる。 50 120 8 風化凝灰 岩 D IV С δ 制れ日のからられています。 、岩組織は明瞭である。 安山岩質の粗粒凝灰岩からなる。 深度12.55m付近、全逸水。 清水 10[10] (100) 簡易揚水 70 140 16 190. 31 赤褐 50 2 11 20[20](100) 岩片状~20cm以下の短柱状コア。 岩心まで酸化し、何巴汚朱。 桃色を帯びる。 岩片はやや硬質となる。 ハンマー軽打で割れる程度。 割れ目は少なくなるが、割れ目沿 15 15. 00 清水/16 50 120 風化凝灰 岩 16 С Ш δ D/DC いは土砂状化。 軽石を多く含む安山岩質の粗粒凝 灰岩からなる。 16 66 清水/16 8[0](100) 16 2 50 140 2 12 17. 00 187. 21 18 19 20

21